

議会報告「市民との意見交換会」

加西市議会では、議会基本条例に基づいて「市民との意見交換会」を実施しています。お聞きした意見、要望は、市政に反映するよう努めています。

8月7日に加西市消防団、8月10日には兵庫県介護支援専門員協会加西支部と意見交換を行いました。そこで述べられた意見の一部を紹介します。

加西市消防団



意見

- 少子高齢化に伴い団員数が減少し、高齢になっても交代要員がない。団員は、各町単位で定めている。加西市の12分団のうち第9分団では、6部制を2部制に変えて2部6班制をとっている。これからは、これがモデルケースになり加西市全体もそうなると思う。 
- 市外で働いている団員が多いため、昼間の消防力が低下している。初期消火に当たる人が少なくなった。機能別消防団や特設消防団の立ち上げが必要になってきた。西脇市は機能別消防団が1つ、小野市は特設消防団が1つある。
- 消防団の活動は、出火の際の初期消火と、鎮火後の管理が主な仕事ですが、礼式大会や操法大会等に、最近若い消防団員から不満の声が上がっている。それにどう対応していくか、これからの課題である。 

議会から質問

- 特設消防団についてお聞きしたい。

回答・意見

- 特設消防団とは、昼間でも比較的行動しやすい人材を選任して部を形成し、災害現場にいち早く出動できる組織です。 

要望

- 活動服の更新について、不燃性のものにしたい。加西市で補助してもらいたい。

議会から質問

- 大会場所については、鶉野飛行場跡地の防災倉庫設置後に検討するという事であったと思う。礼式大会の場合、大きな場所が必要であり鶉野飛行場跡地で大きな場所を整備するのは困難と考えるが。

回答・意見

- 操法大会場所を今年から鶉野飛行場跡地に変更した。使用場所が荒れていたのを整備して何とか実施できた。2年後には、防災公園の周辺で実施できればいいが、できないのであれば、現在使用しているところをもう少しきれいに整備してほしい。いろんな条件を勘案しても加西市でできる場所は、鶉野飛行場跡地しかない。当面は実施していきたいので、できるだけ使いやすい形での整備をお願いしたい。 
- 今年から1つの分団から2隊であったものを1隊に減らし負担の軽減を図っている。礼式大会では、広い場所が必要であるが、人数を減らし、こじんまりしたものでもよいのではないかと考えている。礼式大会は、加西市独自の方法で行うことができる。 

